

(5) 千厩地区

① 地区の現況

本地区は、国道 284 号、国道 456 号や J R 大船渡線などの交通条件に恵まれ、合併前の東磐井地域の行政、産業、経済、医療、教育の中心地として発展してきました。しかし、近年は、中心市街地の空洞化や過疎化の進展により、都市機能の低下が懸念されることから、これまで整備してきた都市基盤を活用しつつ、市の副次拠点として、都市機能の強化を図る必要があります。

また、一部用途地域と現況土地利用に乖離がみられる地区があるほか、土地利用に係る法規制が弱い用途地域外に宅地（住宅地、工業地）開発が分散して進行している状況もみられます。このため、低密度な市街地の拡大を抑制し、用途地域内への立地誘導を図るとともに、土地利用の的確な誘導を行なっていく必要があります。



旧気仙沼街道沿いの商店街

② 都市計画上の主要課題

○市の副次拠点としてのまちの魅力、賑わいの向上

- ・ 商業機能の強化
- ・ 医療、福祉、教育等、都市機能の強化
- ・ 地域資源の整備、充実とそれらを結ぶネットワークの形成（歩いて楽しい市街地づくり）

○国道 284 号をはじめとする基幹的交通体系の整備

- ・ 国道 284 号など広域幹線道路の整備
- ・ 未整備都市計画道路の整備推進
- ・ 公共交通の機能向上

○企業活動を活発にする環境整備

- ・ 企業誘致活動の強化
- ・ 勤労者が生活しやすい環境の整備
- ・ 企業活動を円滑にする周辺地域とのアクセスの強化及び高速通信網等の整備促進

○豊かな自然環境の保全と、水と緑に調和した定住環境の整備

- ・ 千厩川等の親水機能の整備・充実・生態系の保全
- ・ 特徴のある森、屋敷林、水辺等の自然環境の保全
- ・ 用途地域外の土地利用コントロール
- ・ 優良農地の保全と田園風景と調和した景観づくり
- ・ 歴史と文化的景観の保全

○住宅系市街地の安全性、利便性、居住環境の向上

- ・ 用途地域内低未利用地の利用促進
- ・ 既定用途地域と現況土地利用が乖離する地区の的確な土地利用の誘導
- ・ 公共下水道の整備促進
- ・ 公園・緑地等の整備
- ・ 地震や水害をはじめとする災害に対する対策の促進
- ・ 遊休地となっている J T 跡地、県立千厩高校跡地の有効活用

○田園環境の保全と開発との調和

- ・ 無秩序な市街地拡大の抑制
- ・ 国道 284 号など幹線道路沿道の開発の適正誘導

都市の将来像

II
全体構想
分野別構想

地域別構想

一
関
中
央
地
区一
関
東
部
地
区III
地区別構想
一
関
西
部
地
区千
厩
地
区東
山
地
区IV
まちづくりの
推進方策

資料編

南北軸
(国道456号)

千厩川

- ・川幅が狭く大雨時に氾濫
- ・水質の改善

一関環状体系
(県道松川千厩線)

遊休地

商業地の課題

- ・空き店舗の増加
- ・来訪者の減少
- ・歩道が狭い
- ・文化財等の資源の活用
- ・公園等休憩スポットがない
- ・大型車が街なかを通過
(通過交通の排除)

用途地域と現況土地利用に
乖離が見られる

一関市役所
千厩支所
J T跡地

国道284号沿道にショッピングモールの立地

交通量が多い

西小田工業団地

千厩川

住居系用途地域内に
未利用地が多い

東西軸
(国道284号)

下水道処理施設整備中 (未供用)

千厩地区整備課題図



優良農地の保全

医療体制の充実

千厩川

東西軸
(国道284号)

JR大船渡線

県立千厩病院

県立千厩高校跡地

千厩駅

千厩中学校跡地

工場の分散立地

本吉方面へ

東磐井地区広域農道

南北軸
(国道456号)

藤沢

凡 例	
市街地	交通量 (台/日)
農地	0~10,000
山林	10,000~15,000
主な集落地、住宅団地等	15,000~20,000
河川	20,000~25,000
公共公益施設	

③ 地区の目指すべき方向

○ 市の副次拠点にふさわしい、活気、賑わいと魅力にあふれるまちづくり

市街地内に点在する歴史に培われた地域資源や、千厩川をはじめとする豊かな自然環境など、千厩にしかない魅力をまちづくりに生かすとともに、訪れる人々がそれを利用しやすい交通結節機能を整備することにより、人々の交流を活発化し、活気、賑わいにあふれた市の副次拠点にふさわしい市街地の形成を図ります。特に、広域幹線道路の整備を進め、市街地内の通過交通を排除する一方、市街地内においては各資源の整備・充実と歩行者空間の整備により、歩いて移動することに魅力が感じられるまちづくりを進めていきます。

○ 住宅地、公園や医療・福祉・教育施設等を街なかに集中するコンパクトで暮らしやすいまちづくり

商業機能や医療・福祉・教育施設等の都市機能が集積しており、公共交通が整備されている街なかエリアを拠点として、市街地内幹線道路の整備やバス等公共交通の機能向上、千厩川の親水空間化、公園の整備などを推進し、安心、快適で、緑の多い潤いのある暮らしができる住宅市街地の形成を目指します。一方、市街地を囲む田園集落地域については、基本的に開発を抑制し、豊かな自然環境、営農環境を保全しつつ、集落部の居住環境の向上を図ります。

○ 企業活動を円滑にする環境の整備による機能強化

国道284号沿道に立地する電気・機械器具製造業などの大規模工場をはじめとする企業の生産力、雇用力の維持・向上に努めるとともに、周辺地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を進めるなど、企業活動を円滑にする環境の整備を促進し、機能の強化を図ります。

④ まちづくりの方針

土地利用、市街地整備の方針

- ・旧気仙沼街道沿いの商店街を、東磐井地方を商圈とする地域型商業地と位置づけ、周辺に点在する公共公益施設や観光施設とともに、その魅力の向上に努め、居住者が豊かに暮らせ、来訪者が楽しく過ごせる、賑わいのある商業地の形成を図ります。
- ・国道 284 号沿道は、沿道流通業務ゾーンと位置づけ、大規模集客施設の立地は抑制しながら、自動車交通を対象とした沿道型商業施設の立地を誘導します。
- ・国道 284 号沿道に立地する電気・機械器具製造業などの大規模工場は、今後も千厩地域の基幹産業として、その機能の維持・発展に努めるとともに、企業活動を円滑にする環境の整備を促進し、機能の強化を図ります。
- ・国道 284 号沿道を中心とした工業地域は、幹線道路沿道に流通業務施設が集積しており、また、住工混在地区となっているなど、既定用途地域と現況の土地利用が乖離していることから、土地利用の的確な誘導を図るため、土地利用の現況・動向の把握に努めるとともに、必要に応じて用途地域の見直しを検討します。
- ・国道 284 号沿道及びその北側の区域を低層・戸建てを中心とした住宅系市街地と位置づけ、未利用地の有効利用を図りつつ、職住が近接した、安全・快適な住環境の形成を図ります。
- ・国道 284 号の南側の区域は、緑の環境を保全しつつ、自然と調和した居住環境の形成を図るゾーンとして位置づけていきます。
- ・用途地域外は、計画的開発を除き、基本的に開発・整備を抑制するものとし、住宅市街地を囲む緑や優良な営農環境の維持・向上に努めます。特に、国道 284 号などの幹線道路沿道の開発を適正に誘導し、無秩序な市街地の拡大を抑制していきます。
- ・集落部については、コミュニティの維持、排水施設や生活道路の整備などにより居住環境の向上を図ります。
- ・県立千厩病院から駒場交流公園にかけての区域を「人材教育・医療福祉関連ゾーン」と位置づけ、県立千厩高校跡地の活用や道路基盤の整備等を促進するとともに、教育施設、医療・福祉施設等の集積を検討します。
- ・J T 跡地、旧千厩中学校跡地については、地域住民の意向を踏まえつつ、有効利用について検討していきます。
- ・治水対策として、千厩川の宮敷地区の河川改修を促進します。改修にあたっては、散策路や水に親しめる空間の整備、緑豊かな護岸や川沿いの緑地、生態系の保全、また、松沢神社、大光寺などの周辺景観との調和に配慮していきます。
- ・東中沢、金山地区等の農用地の保全に努めます。
- ・酒のくら交流施設、せんまや街角資料館、まちの駅・新町 J a J a 馬プラザ、熊谷美術館などの施設を中心に、J T 跡地、蔵づくりの商店や民家などの地域資源を活用し、千厩らしい市街地環境の整備を促進するとともに、それを P R することにより、賑わいのある市街地の形成を図ります。

- これらの施設や観光・交流拠点を回遊できる街なか回遊ネットワークを形成し、歩いて楽しい市街地の形成を図ります。
- 大規模地震に備え、避難場所となる小中学校等の公共施設の耐震化を図るとともに、木造住宅の耐震改修の促進に向け、耐震診断を進めます。
- 空き店舗に関する情報の提供を進めるとともに、空き店舗への入居の支援を進めます。

都市施設の整備方針

- 東西軸として、国道 284 号を位置づけるとともに、一関中心部と気仙沼市間の交流を促進する道路（地域高規格道路）の整備を関係機関と連携して検討します。
- 商店街を通る国道 456 号と市道愛宕梅田線は、東西軸の形成とともに歩行者が安全で安心して歩くことが出来る空間に配慮した道路整備を図ります。
- 南北軸として、県道松川千厩線、市道千厩矢越線、国道 456 号と市道石堂構井田線及び東磐井広域農道を位置づけ、その整備を促進します。
- 主要な公共公益施設や商店街、周辺地域との連絡を強化し、住民の利便性向上を図るために必要な道路整備を進めていきます。
- 細街路が未整備な地区については、緊急車両等の進入路を確保するため、主要な生活道路の整備を推進します。
- 主要施設を結ぶ循環バスの運行等、高齢化社会の進展に対応した公共交通のあり方を検討していきます。
- 誰もが安心して快適に移動できるよう、駅や千厩支所といった生活関連施設及び生活関連経路のバリアフリー化を図ります。
- 公園の維持管理に努めるとともに、将来人口や誘致距離に対応した公園の確保を図ります。
- 身近な公園が不足している街なかについては、未利用地などを活用しながら、街区公園の整備を検討します。
- また、駒場交流公園の整備や、舘山公園などの公園・緑地の維持・充実に努め、水と緑の拠点形成を進めるとともに、千厩川親水空間等を介してそれらを連絡することにより、水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 老朽化している一関東消防署の移転改築等を市街地郊外に進め、国道と幹線市道との連絡道整備も含めて、東の防災拠点づくりを進めます。
- 上水道や遅れている公共下水道の整備を積極的に進めるとともに、処理区域外においては浄化槽の普及を推進します。
- 国道 284 号の道路改良にあわせ、清田地区に花の駅を整備します。整備にあたっては、水と緑を中心とした観光交流拠点として位置づけ、地域住民との協働により進めていきます。

景観の形成方針

- ・市街地を周回するように点在する建造物や神社・石碑等の豊かな歴史的文化的資源の景観を保全していきます。
- ・三島山などの小高い山々や丘陵地は、地域を囲む特徴的な緑地資源としてその自然景観を大切に保全します。
- ・市街地周辺の里山に抱かれたイグネ[※]のある農家住宅景観や広がりのある、ゆったりとしたふるさとの風景を、集落営農をはじめとする農業の振興と花いっぱい運動などの地域住民の活動を軸にして、歴史文化と共に保全・継承に努めます。



大光寺前の景観

一関環状体系
(県道松川千厩線)

周辺環境との調和に配慮
した千厩川の河川改修

一関市役所千厩支所

J T 跡地

酒のくら
交流施設

まちの駅新町
JaJa馬プラザ

千厩球場

館山公園

西小田工業団地

千厩川

東西軸
(国道284号)



千厩地区整備構想図

N



南北軸
(国道456号)

千厩川

東西軸
(国道284号)

JR大船渡線

県立千厩病院

駒場交流公園

(仮称) 花の駅

県立千厩高校跡地

一関東消防署の移転

千厩駅

千厩中学校跡地

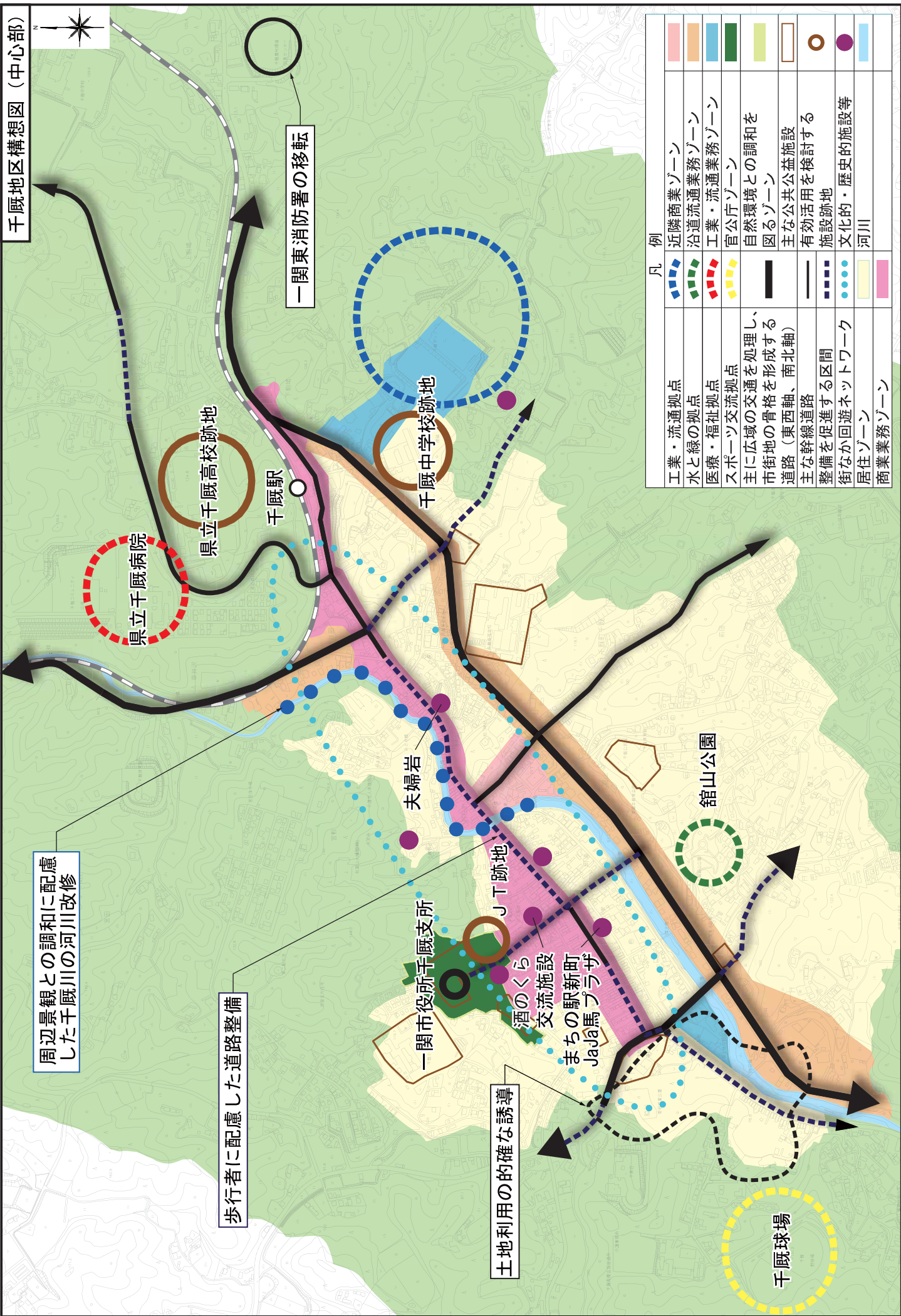
本吉方面へ

東磐井広域農道

藤沢

南北軸
(国道456号)

凡 例			
工業・流通拠点		街なか回遊ネットワーク	
水と緑の拠点		市街地	
スポーツ・レクリエーション拠点		農地	
医療・福祉拠点		山林	
その他の文化・交流拠点		主な集落地、住宅団地等	
主に広域の交通を処理し、市街地の骨格を形成する道路(東西軸、南北軸)		沿道流通業務ゾーン	
都市計画道路		人材教育・医療福祉関連の集積を図るゾーン	
主な幹線道路		主な公共公益施設	
将来の構想路線		有効活用を検討する施設跡地	
		河川	



千厩地区構想図（中心部）

周辺景観との調和に配慮した千厩川の河川改修

歩行者に配慮した道路整備

土地利用の的確な誘導

凡例	
工業・流通拠点	近隣商業ゾーン
水と緑の拠点	沿道流通業務ゾーン
医療・福祉拠点	工業・流通業務ゾーン
スポーツ交流拠点	官公庁ゾーン
主に広域の交通を処理し、市街地の骨格を形成する道路（東西軸、南北軸）	自然環境との調和を図るゾーン
主な幹線道路	主な公益施設
整備を促進する区間	有効活用を検討する施設跡地
街なか回遊ネットワーク	文化的・歴史的施設等
居住ゾーン	河川
商業業務ゾーン	



酒のくら交流施設



夫婦岩

(6) 東山地区

① 地区の現況

本地区は、大正時代に石灰石関連の産業が興り隆盛を誇るとともに、日本百景「狛鼻溪」があることから、現在まで石灰関連産業及び観光のまちとして発展してきました。しかし、中心市街地の空洞化や過疎化の進行により、都市機能が低下しているため、既存の地区資源を活用しつつ、石灰関連産業及び観光のまちとしての機能を強化していく必要があります。

また、たびたび台風等により多大な被害を受けており、災害に強い都市として、安全な都市環境の整備を図る必要があります。

さらに、本町地区をはじめとして一部用途地域と現況土地利用に乖離がみられる地区や未利用地が残る地区があることから、土地利用の的確な誘導や未利用地の有効活用を推進していくことが課題となっているほか、既定都市計画道路網について、主要地方道一関大東線のバイパス整備により、交通の流れが大幅に変化していることから、今後の交通需要に応じた都市計画道路網を検討していく必要があります。



狛鼻溪

② 都市計画上の主要課題

○観光拠点としてのまちの魅力、賑わいの向上

- ・豊かな自然環境の保全と観光資源としての活用
- ・狛鼻溪や石と賢治のミュージアムなどの観光資源の充実と連携強化
- ・商業機能の強化

○企業活動を活発にする環境整備

- ・企業誘致活動の強化
- ・勤労者が生活しやすい環境の整備
- ・企業活動を円滑にする周辺地域とのアクセスの強化及び高速通信網等の整備促進

○住宅系市街地の安全性、利便性、居住環境の向上

- ・用途地域内低未利用地の利用促進
- ・既定用途地域と現況土地利用が乖離する地区の的確な土地利用の誘導
- ・公共下水道の整備促進
- ・公園・緑地等の整備
- ・地震や水害をはじめとする災害に対する対策の促進

○主要地方道一関大東線をはじめとする基幹的交通体系の整備

- ・広域幹線道路の整備
- ・都市計画道路など道路体系の見直しと整備推進
- ・公共交通の機能向上

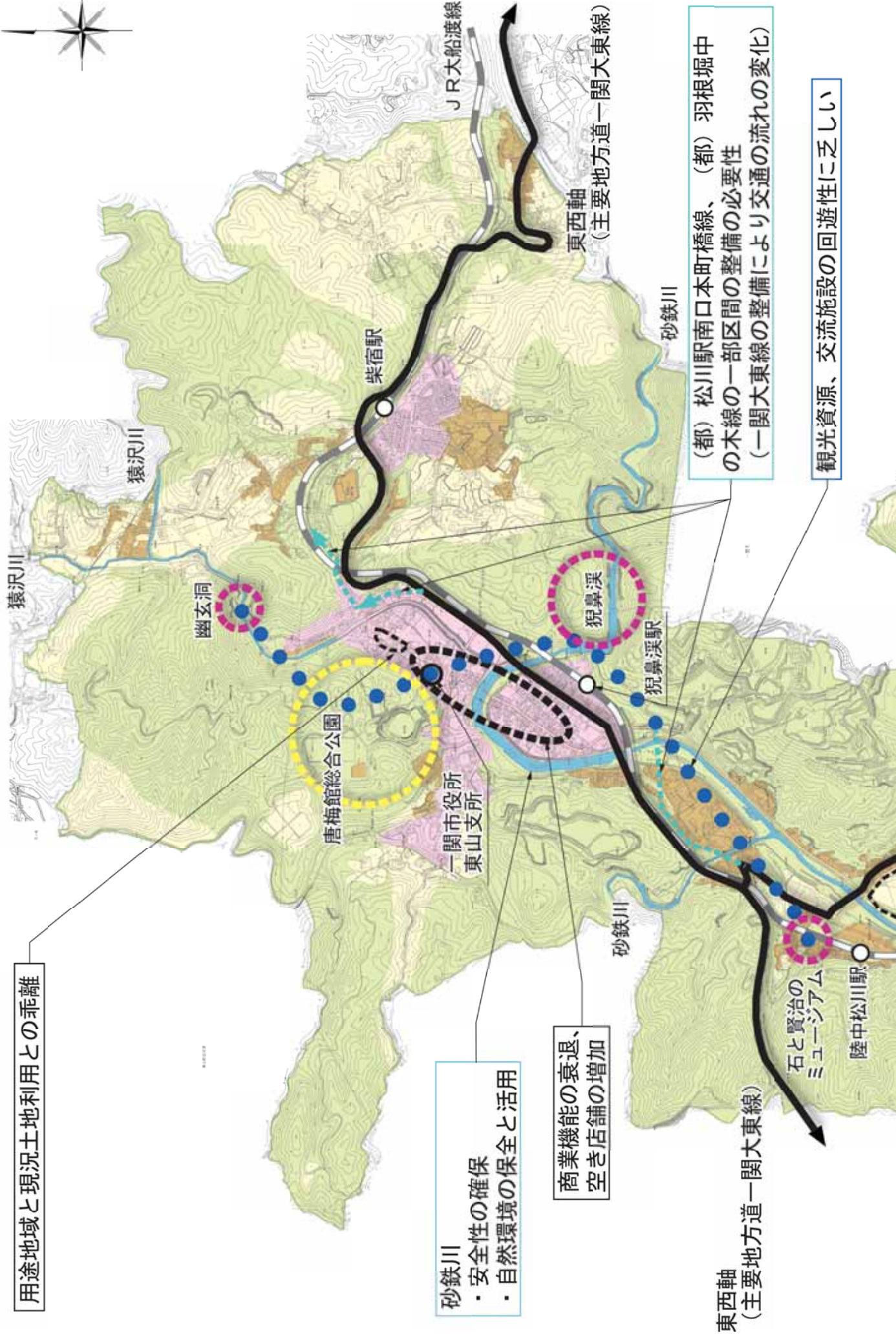
○豊かな自然環境の保全と、水と緑に調和した定住環境の整備

- ・砂鉄川等の親水機能の整備・充実・生態系の保全
- ・用途地域外の土地利用コントロール
- ・優良農地の保全と田園風景と調和した景観づくり
- ・特徴のある森、屋敷林、水辺等の自然環境の保全
- ・歴史と文化的景観の保全

○田園環境の保全と開発との調和

- ・無秩序な市街地拡大の抑制
- ・主要地方道一関大東線など幹線道路沿道の開発の適正誘導

東山地区整備課題図



用途地域と現況土地利用との乖離

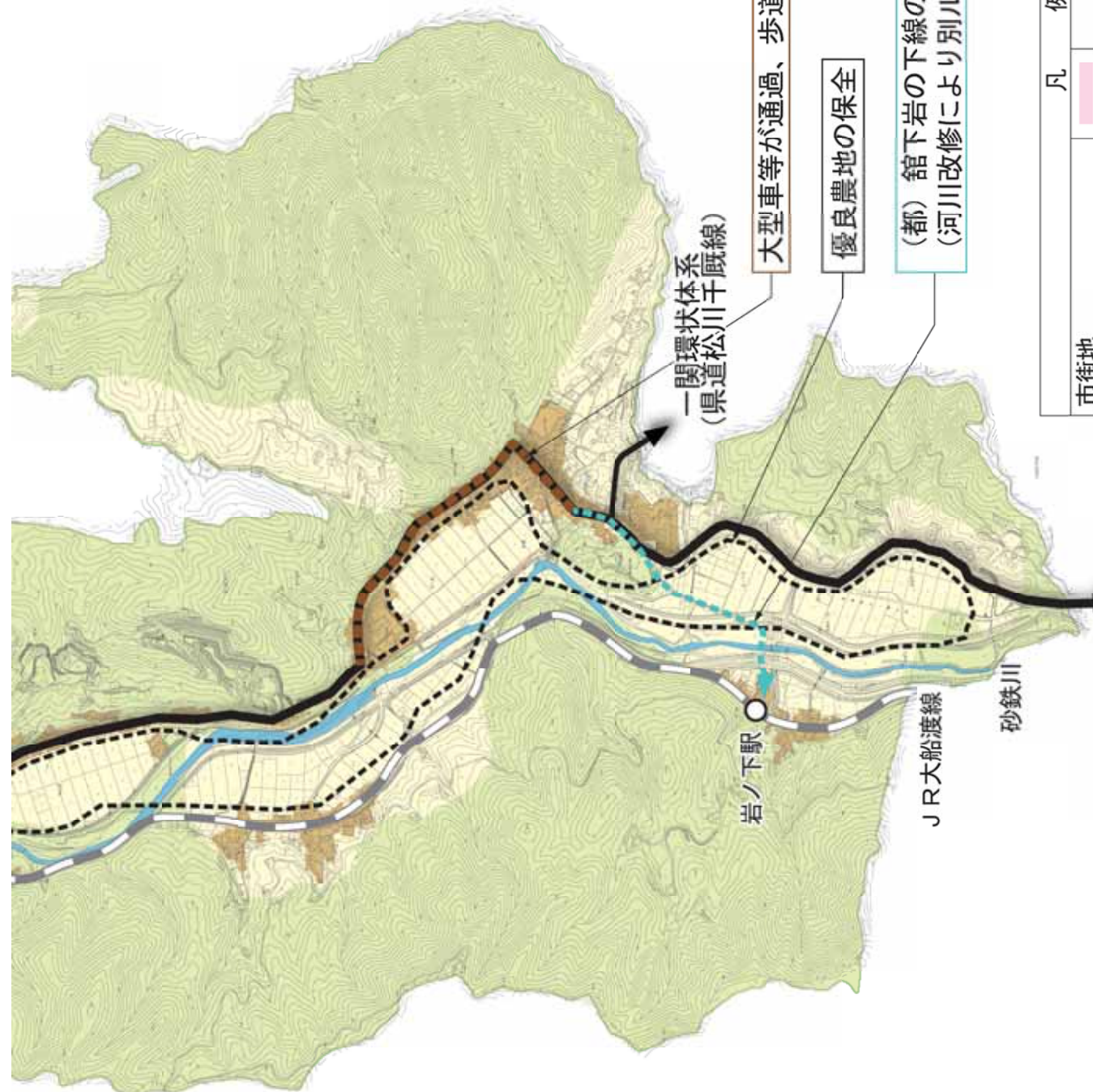
砂鉄川
 ・安全性の確保
 ・自然環境の保全と活用

商業機能の衰退、
 空き店舗の増加

東西軸
 (主要地方道一関大東線)

(都) 松川駅南口本町橋線、(都) 羽根堀中
 の木線の一部区間の整備の必要性
 (一関大東線の整備により交通の流れの変化)

観光資源、交流施設の回遊性に乏しい



一関環状体系
(県道松川千厩線)

大型車等が通過、歩道が狭く危険

優良農地の保全

(都) 館下岩の下線の整備の必要性
(河川改修により別ルートでの道路整備済み)

一関環状体系
(県道東山薄衣線)

凡 例	
市街地	交通量 (台/日)
農地	0~10,000
山林	10,000~15,000
主な集落地、住宅団地等	15,000~20,000
河川	20,000~25,000

③ 地区の目指すべき方向

○ 観光拠点としての活気、賑わいと魅力にあふれるまちづくり

狛鼻溪、幽玄洞、石と賢治のミュージアムをはじめとする観光資源の魅力の向上や、新たな観光資源の発掘に努めるとともに、それらの資源の新たな結び付け、回遊性を高めるため、歩行者空間の整備、案内標識の設置など、訪れる人々を誘導する工夫を凝らすことにより、人々の交流を活発化し、観光拠点としての活気、賑わいと魅力にあふれるまちづくりを目指します。

○ 豊かな自然環境と調和したコンパクトで安全、快適なまちづくり

これまで商業・業務機能をはじめとする都市機能が集積されてきた街なかエリアの拠点としての機能の向上に努めるとともに、田園集落地域については、豊かな自然環境、営農環境の保全に努め、コンパクトで安全、快適なまちを目指します。

○ 企業活動を円滑にする環境の整備による機能強化

石灰関連企業をはじめとする企業の生産力、雇用力の維持・向上に努めるとともに、周辺地域との連携を強化する幹線道路の整備を進めるなど、企業活動を円滑にする環境の整備を促進し、機能の強化を図っていきます。

○ 豊かな自然や歴史・文化を生かした、人々が愛着を持てるまちづくり

清流砂鉄川をはじめとする豊かな自然環境や、次世代へ継承すべき歴史・文化などの地域資源の保全に努めるとともに、それらの地域資源を活用しながら、そこに住む人々がまちに誇りと愛着を持ち、来訪者に東山の魅力を発信するようなまちづくりを進めます。

④ まちづくりの方針

土地利用、市街地整備の方針

- ・長坂商店街を、東山地域を商圈とする近隣型商業地と位置づけ、居住者が豊かに暮らせ、来訪者が楽しく過ごせる空間の創出を図っていきます。
- ・主要地方道一関大東線沿道は、観光・交流軸と位置づけ、沿道型商業施設等の立地を誘導するとともに、沿道の未利用地を活用し、休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能、緑地機能等を有した「道の駅」のような観光・交流拠点整備を検討するなど、観光・交流機能の強化を図ります。
- ・東山地域の基幹産業である石灰関連産業は、企業活動を円滑にする環境の整備を促進し、機能強化を図ります。
- ・本町地区の準工業地域については、既定用途地域と現況の土地利用が乖離していることから、土地利用の的確な誘導を図るため、土地利用の現況・動向の把握に努めるとともに、必要に応じて用途地域の見直しを検討します。
- ・住宅系用途地域を低層・戸建てを中心とした住宅系市街地と位置づけ、未利用地の有効利用を図りつつ、職住が近接した、安全・快適な住宅地の形成を図ります。
- ・用途地域外は、計画的開発を除き、基本的に開発・整備を抑制するものとし、住宅市街地を囲む緑の環境維持、優良な営農環境の維持・向上に努めます。特に、幹線道路沿道の開発を適正に誘導し、無秩序な市街地の拡大を抑制していきます。
- ・住環境整備が整っているサンヒル柴宿に定住を促進していきます。
- ・松川地区は、豊かな田園環境、集落景観の保全を基本に、都市的な整備と農業環境の調和する土地利用を図ります。
- ・治水対策として、砂鉄川の改修を促進します。改修にあたっては、散策路や水に親しめる空間の整備、緑豊かな護岸や川沿いの緑地、生態系の保全などに配慮していきます。
- ・猯鼻溪、幽玄洞、石と賢治のミュージアムをはじめとする観光資源の充実、PRに努めるとともに、それらを結ぶ、ネットワークの形成や案内標識の設置等により、来訪者を市街地に引き込み、賑わいのある市街地の形成を図ります。
- ・豊かな自然環境を活用し、グリーンツーリズムや自然体験型観光などの確立を図っていきます。
- ・砂鉄川流域に広がる圃場整備された田は、優良農地として保全に努めるとともに、遊休農地の拡大や土地生産性の低下が危惧されることから、今後、担い手農家の育成や作業の効率化、農地の流動化を促進し、農地の最大活用を図ります。

都市施設の整備方針

- 東西軸として、主要地方道一関大東線を位置づけ、整備を促進していきます。
- 長坂商店街をはじめとする商業地における道路については、歩行者が安全で安心して歩くことができる空間に配慮した道路整備を図ります。
- 川崎地域との交流・連携を強化するため、(都)松川駅館下線(西前橋下流)の整備を進めます。
- (都)松川駅南口本町橋線、(都)羽根堀中の木線の一部区間は、主要地方道一関大東線のバイパス整備により、大幅に交通量が変化していることから、部分廃止を含めた見直しを検討していきます。
- (都)館下岩の下線については、砂鉄川堤防改修により、新たな道路が整備されたことから、廃止を含めた見直しを検討していきます。
- その他、主要な公共公益施設との連絡を強化し、住民の利便性向上を図るため、必要な道路整備を進めていきます。
- 災害時の避難路及び緊急車両、福祉車両等の進入路を確保するため、主要生活道路の整備を図ります。
- 安全性と生活利便性の向上のため、柴宿駅の踏み切りの拡幅を検討します。
- 高齢化社会の進展に対応し、公共交通の利便性の向上を図っていきます。
- 唐梅館総合公園や砂鉄川親水空間を中心として、水と緑のネットワークの形成を図っていきます。
- 公共下水道の整備を引き続き進めるとともに、処理区域外においては浄化槽の普及を推進していきます。
- 地域住民の交流や生涯学習の拠点として、地域交流センターを整備します。
- 大規模地震に備え、避難場所となる小中学校等の公共施設の耐震化を図るとともに、木造住宅の耐震改修の促進に向け、耐震診断を進めます。



建設中の地域交流センター

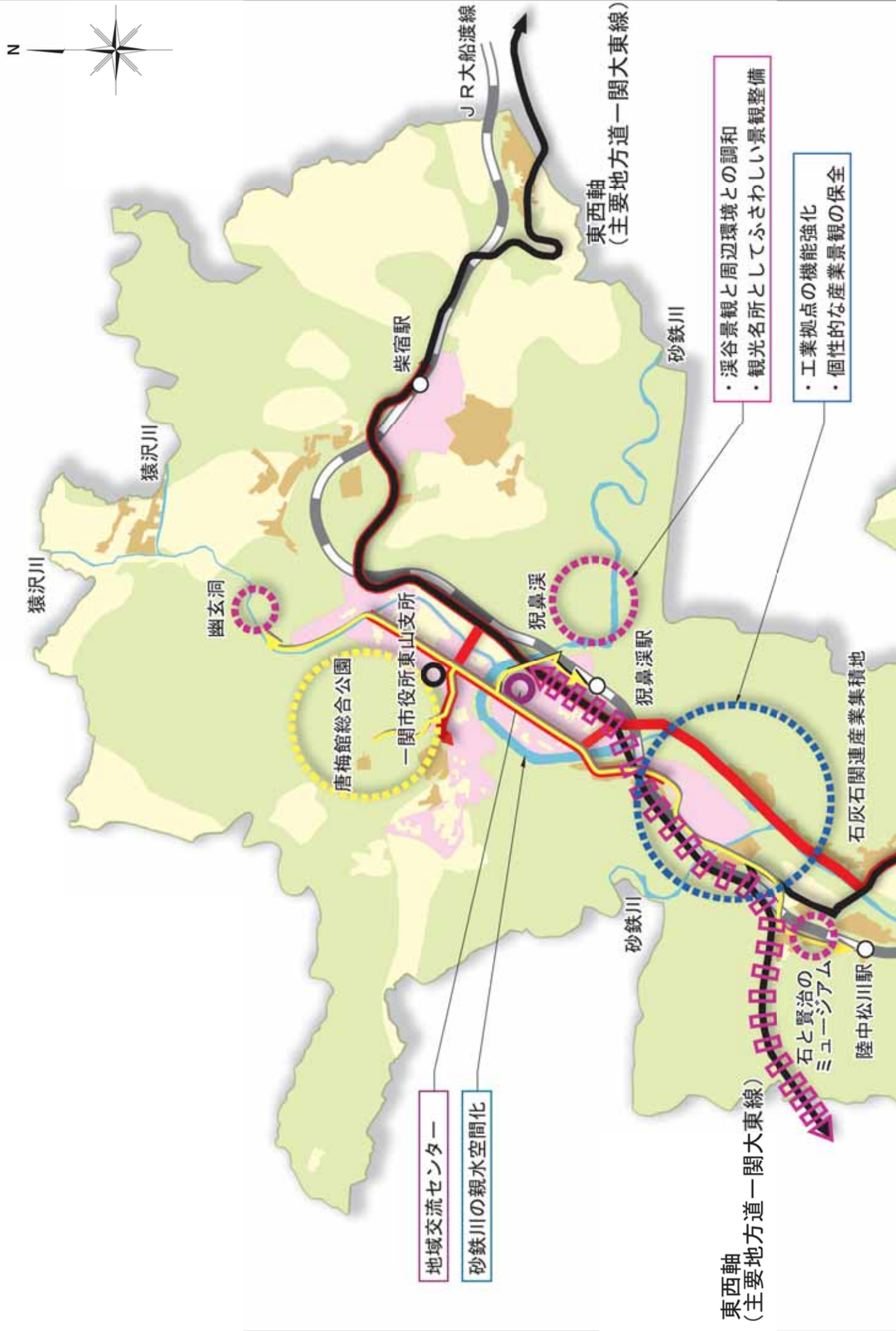
景観の形成方針

- ・ 狛鼻溪をはじめとする地域のもつ特徴的な地形・地質から生まれた渓谷景観と周辺地域の景観との調和や、観光名所としてふさわしい景観整備を進め、観光拠点としての更なる活用を図ります。
- ・ 東山地域の経済を支えてきた石灰関連産業等の産業景観や二十五菩薩堂や新奥の細道などの歴史的資源の活用を図るとともに、周辺環境と調和させつつ自然景観の保全に努めます。
- ・ 長坂地区における砂鉄川などの周辺の景観と調和した街並みや松川地区の土蔵の街並みなど、地域の特徴的な街並み景観の維持・保全を図ります。



石炭関連産業の産業景観

東山地区整備構想図



地域交流センター

砂鉄川の親水空間化

東西軸
(主要地方道一関大東線)

- ・ 渓谷景観と周辺環境との調和
- ・ 観光名所としてふさわしい景観整備

- ・ 工業拠点の機能強化
- ・ 個性的な産業景観の保全

東西軸
(主要地方道一関大東線)

石灰石関連産業集積地

陸中松川駅

石と賢治のミュージアム

砂鉄川

狢鼻溪駅

狢鼻溪

一関市役所東山支所

唐梅館総合公園

幽玄洞

猿沢川

猿沢川

JR大船渡線

N

松川駅館下線（西前橋下流）の整備

松川地区の街なみ景観の維持・保全

一関環状体系
（県道松川千厩線）

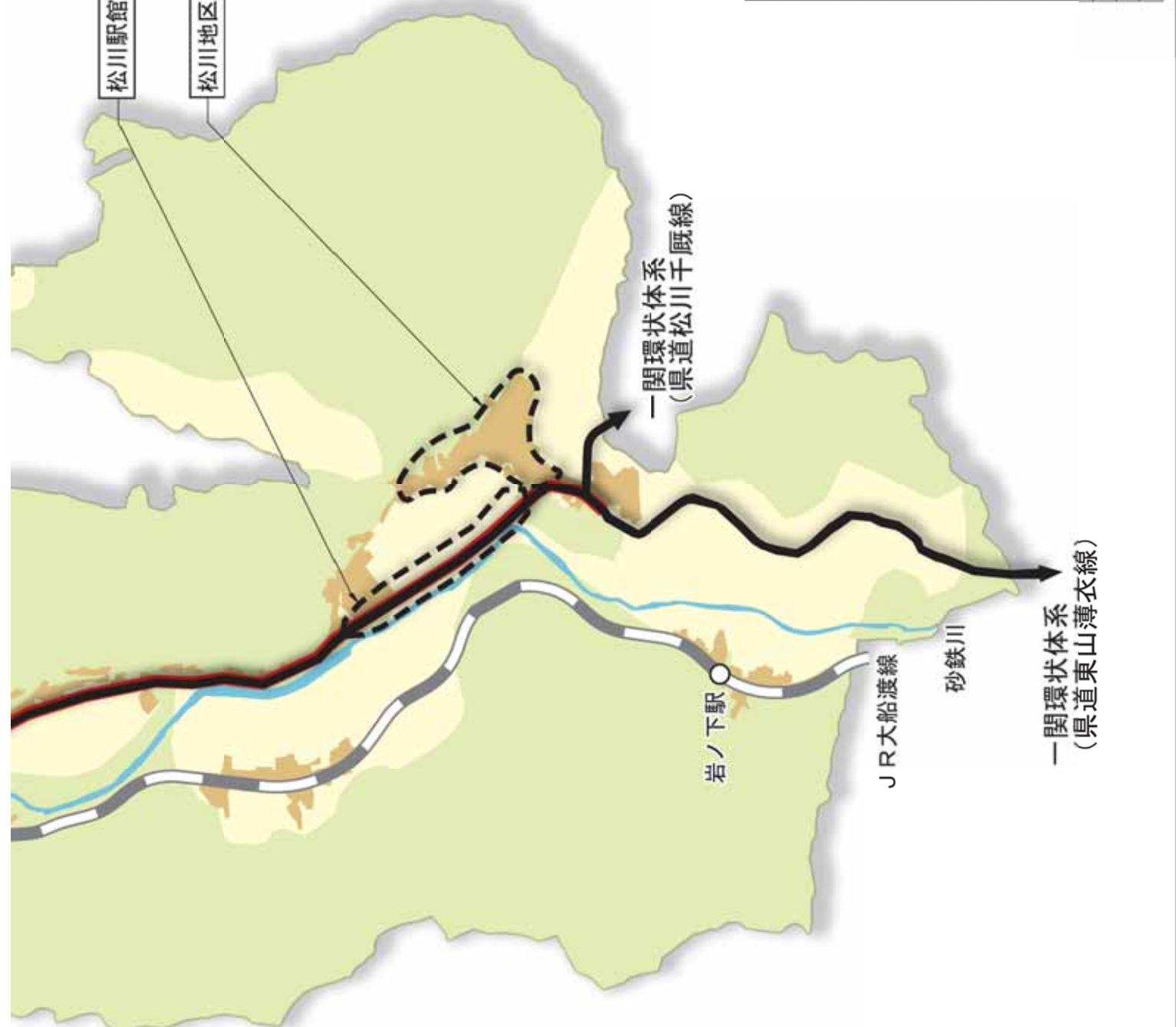
岩ノ下駅

JR大船渡線

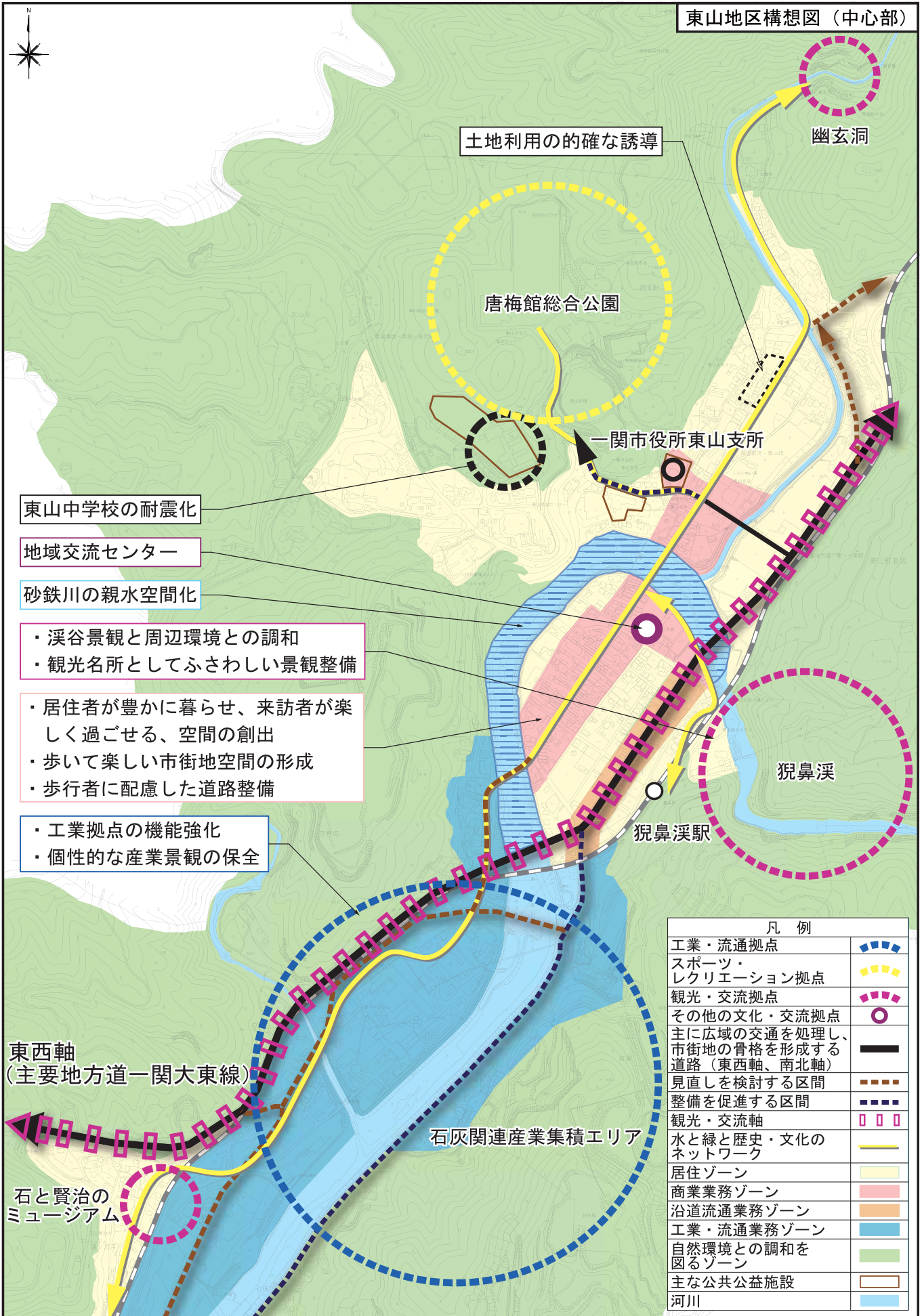
砂鉄川

一関環状体系
（県道東山薄衣線）

凡 例	
工業・流通拠点	
スポーツ・レクリエーション拠点	
観光・交流拠点	
その他の文化・交流拠点	
主に広域の交通を処理し、市街地の骨格を形成する道路（東西軸、南北軸）	
都市計画道路	
観光・交流軸	
水と緑と歴史・文化のネットワーク	
市街地	
農地	
山林	
主な集落地、住宅団地等	
河川	



東山地区構想図（中心部）



土地利用の的確な誘導

幽玄洞

唐梅館総合公園

一関市役所東山支所

東山中学校の耐震化

地域交流センター

砂鉄川の親水空間化

- ・ 溪谷景観と周辺環境との調和
- ・ 観光名所としてふさわしい景観整備

- ・ 居住者が豊かに暮らせ、来訪者が楽しく過ごせる、空間の創出
- ・ 歩いて楽しい市街地空間の形成
- ・ 歩行者に配慮した道路整備

- ・ 工業拠点の機能強化
- ・ 個性的な産業景観の保全

猯鼻溪

猯鼻溪駅

東西軸
(主要地方道一関大東線)

石と賢治の
ミュージアム

石灰関連産業集積エリア

凡例	
工業・流通拠点	
スポーツ・レクリエーション拠点	
観光・交流拠点	
その他の文化・交流拠点	
主に広域の交通を処理し、市街地の骨格を形成する道路（東西軸、南北軸）	
見直しを検討する区間	
整備を促進する区間	
観光・交流軸	
水と緑と歴史・文化のネットワーク	
居住ゾーン	
商業業務ゾーン	
沿道流通業務ゾーン	
工業・流通業務ゾーン	
自然環境との調和を図るゾーン	
主な公共公益施設	
河川	